

施策

No.7 高齢者福祉の充実

■ 現状と課題

現状やこれまでの取り組み

- 高齢者が住み慣れた地域で孤立化せずに安心して暮らすことができるよう、地域包括ケアシステムの構築が求められているとともに、地域社会を支える一員として高齢者の一層の社会参加が期待されています。
- 本市においても、介護保険サービスの提供と合わせ、老人クラブ・シルバー人材センター⁹¹の活動を通じた生きがいづくり・社会参加の促進や地域包括支援センター等を中心とした健康づくり・介護予防への取り組みなどを進めています。

今後の課題や取り組みの方向

- 本市では、府内自治体と比較しても高齢化が急速に進行しており、特に後期高齢者の増加による介護や支援を必要とする人の増加が予測されます。
- 介護保険事業の適正な運営を図るとともに、すべての高齢者が住み慣れた地域で自分らしく人生の最期まで暮らし続けることができるよう、保健・医療・福祉をはじめ、地域や関係機関との連携による地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組みを進めます。
- 介護予防事業を推進し、健康づくりを支援するとともに、認知症高齢者の支援体制の充実に努めます。
- 高齢者が生きがいを感じながら健やかな高齢期を過ごし、知識や経験などを活かして地域での就労や地域活動などに積極的に参加できるよう支援します。

■ 10年後のめざす姿

高齢者が心身ともに健康でいきいきと暮らすことができる環境づくりが進み、地域の一員として活躍し、健康寿命が延伸するとともに、認知症や介護が必要な状況になっても住み慣れた地域で安心して生活ができています。

■ 住みよさ指標

指標名	現状値 (H 27)	中間値 (H 32)	目標値 (H 37)
「高齢者にとっての暮らしやすさ」に関する市民満足度	13.3%	15.0%	20.0%
要介護認定を受けていない高齢者の割合	79.0%	74.4%	70.7%
認知症サポーター ⁹² 数	5,102人	8,100人	12,000人
60歳以上の高齢者の内、シルバー人材センター会員登録者の占める割合	2.1%	3.0%	5.0%

91 シルバー人材センター：高齢者雇用安定法に基づき、高齢者の臨時的かつ短期的又は軽易な就業機会の確保と提供を行う公益法人。60歳以上の人を対象としており、会員として登録すると雇用によらない臨時的かつ短期的又は軽易な仕事の提供を受けたり、雇用を希望する場合には職業紹介事業及び労働者派遣事業による臨時的かつ短期的な仕事が紹介される。

92 認知症サポーター：「認知症サポーター養成講座」を受講した、認知症の人とその家族を理解し、支援する人。

■ 施策の展開

No.	主な取り組み	担当課	
1	地域における包括的なケア体制の整備		
	継	・地域包括支援センターの機能強化	いきいき高齢・福祉課 介護保険課 健康推進課
	充	・在宅医療・介護連携の推進	
	充	・認知症の予防及び早期発見など認知症施策の推進	
	継	・高齢者の権利擁護や虐待防止の推進	
継	・介護保険サービスの提供と適正な介護保険運営		
2	介護予防と生活支援の充実		いきいき高齢・福祉課 保険年金課
	充	・介護予防事業の推進による健康づくりの支援	
	新	・介護予防・日常生活支援総合事業の実施と生活支援体制の整備	
継	・老人医療費助成事業の実施		
3	高齢者の生きがいづくりや社会参加の促進		いきいき高齢・福祉課
	新	・交流機会の創出のための居場所づくり	
	継	・老人クラブ活動の活性化	
	充	・シルバー人材センターの活性化	
	新	・ボランティア・NPO活動等への参加促進	

■ 関連する個別計画

計画名	計画期間
第6期河内長野市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画	H27～29年度
河内長野市高齢者いきいき都市構想	H27年度～



モックル介護予防体操講座